

北海道立学校ふるさと応援事業実施校一覧

管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
渡島	函館中部高等学校	「主体的・対話的で深い学び」の推進のためのICT環境の整備	学校教育目標を具現化し、グローバルな視点で考え行動できる生徒の育成のため、新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を行うためにICT機器の整備を行う。	令和元年度から、より積極的にグローバルな人材を育成するため学校教育目標を改訂、育成すべき資質・能力「函中コンピテンシー」を定め、英語教育とともに理数教育に重点を置く教育課程編成に取り組んでいる。学校の目指す方向性を実現するためには、新たな学びに向けたICT環境の充実が必要である。
		安心・安全な学校づくりのための環境整備	全日制・定時制・通信制の生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、学校環境の整備を行う。	本校は全日制・定時制・通信制(協力校)が併置され、様々な生徒が在籍している。平常授業日及び週休日は出入りが多様であるため、一層の防犯設備の充実とともに、時代の変化による環境整備として、トイレの洋式化が必要である。
渡島	函館西高等学校	探究活動を通じた学校教育活動の深化・充実	探究活動を軸とした授業改善のため、ICT機器や通信環境の整備、稼働式でレイアウトが自由に変えられる机と椅子の整備等、学習環境を整え、学校教育活動全体の深化、充実を図りたい。	平成31年4月に再編統合された本校は、探究活動を軸に授業改善に取り組んでいる。探究活動は「総合的な探究の時間」のほか、各教科においても取組を進め、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から、生徒が課題を設定し、調べ、まとめ、発表する活動を重視している。特に、グループでの活動と個人の活動を往復しながら、考えを深めていくことを目指しており、そのための学習環境の充実が必要である。
		再編統合に伴う部員増に対応した部活動の充実	各部活動において活発な活動が行われるとともに、地域からの期待や、地域活性化に応えるため、部活動における施設・設備・備品・消耗品等の環境のより一層の充実を図りたい。	平成31年4月に再編統合された本校は、3間口から6間口の学校となり、生徒数が倍増し、部活動加入率も80%と高い。部員の増加に伴い、備品・消耗品(ユニフォーム等を含む)の整備が不十分な状況があり、また、文化系部活動は地域のイベントでのパフォーマンスや交流も頻繁に行われており、地域活性化に果たす役割も大きいことから、部活動の環境整備を進め、充実した活動に繋げていく必要がある。
渡島	函館水産高等学校	水産教育を通じた地域連携の充実	地元漁協と連携して牡蠣の試験栽培や、水中ドローンを活用した海洋調査、沿岸水産業で不足しているエンジニア人材の育成を図るため、地元企業と協力しながら、実習を充実	栽培漁業におけるコスト高や定置網による漁獲が減少している現状を、地元企業と協力して様々な試みから解決するとともに、沿岸水産業において船舶等を整備するエンジニアが不足しており、機械離れが進路選択にも及んでいるため。